

サーバに対するユーザの利用状況を管理するシステムの構築

995026 市川 祥隆

(指導教員 速水 治夫 教授)

1.はじめに

現在，インターネットの普及とともに，ネットワークを利用した各種サービスが提供されている．また，それらのサービスを用いて，業務や作業を行っている企業や研究室は多い．しかし，そのサーバの管理をしているサーバ管理者には，十分な知識や経験を持っていない場合もある．また，サーバ数の増加に管理者数が追いついていない現状もある．

そこで，本研究ではサーバに対するユーザの利用状況を管理するシステムを提案・構築する事により，管理の効率化や不正アクセス・不正利用の検知を目的としたものである．

2.システム概要

本システムは図 1 のように構成されており，一つ，もしくは複数の管理対象となるサーバに監視プログラムを設置する．監視プログラムは，設定されたイベントが発生する度に管理情報を収集する情報収集サーバにイベントの内容を送信・追加する．また，このサーバは管理情報の収集サーバ（データベース）と，管理情報の表示サーバ（ウェブサーバ）を兼ねているため，管理者はブラウザを利用して管理情報を一元的に表示できる．

3.動作画面

本システムの実行画面を図 2 で示す．

4.まとめ

本システムにより，複数の管理対象サーバを一元的に把握することができた．また，時系列でデータを保存しグラフにより図示すること

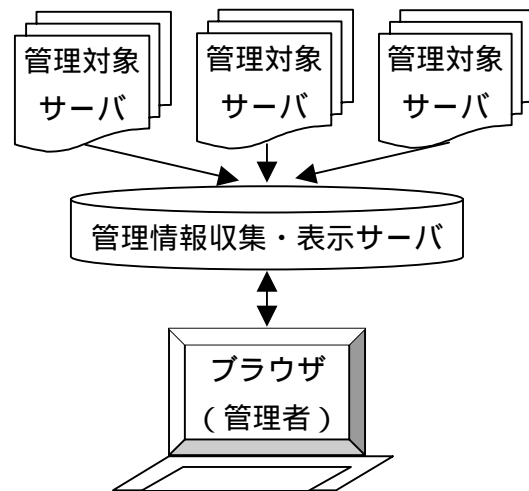


図 1 システム構成図



図 2 動作画面例

により，不正な時間に利用されていないか調べることができた．しかし，今回のシステムでは，対応したサービスしか情報が取得できず，対応外のサービスの管理にはこのシステムが利用できないが，新たに実装する事により改善できる．また，実装方法が最適化されていない部分があり，管理情報収集・表示サーバに負荷がかかるケースがあるので，この改善も今後の課題である．